

課題改善カリキュラム《道 徳》 練馬区立上石神井小学校・上石神井中学校

本グループの道徳の課題

- (1) 地域社会の一員としての自覚をもち、地域社会に貢献しようとする姿勢・態度を養う。 (2) 望ましい生活習慣の確立を目指す。
 (3) かけがえのない自他の生命を尊重する気持ち、相手を思いやる心を育てる。

内容		上石神井小学校・上石神井中学校の児童・生徒たちに身に付けさせたい道徳性(指導の重点)	特別活動等の連携 家庭・地域等との連携	小中一貫教育の視点 における連携
I 期	小学校 第1学年	<ul style="list-style-type: none"> 健康や安全に気を付け、身の回りを整え規則正しい生活をする態度を養う 生きることを喜び、生命を大切にすることを養う。 気持ちの良い挨拶、言葉遣い、動作などを心がけて、身近にいる人に温かい心で接し、親切にする態度を養う。 善悪を判断し、人間として、してはならないことは絶対にしないという気持ちを育てる。 自分がやらなければならない勉強や仕事は、しっかりと行おうとする態度を養う。 	<p style="text-align: center;">特別活動における道徳教育</p> <p>〈学級活動との連携〉 学級生活を基盤とし、集団の構成員としての望ましい資質や態度を養う。</p> <p>清掃活動を充実させ、落ち着いた教室環境づくりに努める。</p> <p>〈児童会活動・生徒会活動との連携〉 委員会活動の活発化を図り、自治的能力・自主性を育成する。</p> <p>〈学校行事との連携〉 各行事の取り組みを通して、自主性・協調性・相手を思いやる心を育成する。</p>	<p>小・中あいさつ運動</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の一員として協力し合い、より良い学校生活、地域社会を創り上げようとする自主性を育てる。 小学生と中学生の望ましい人間関係を構築する。
	第2学年			
	第3学年			
	第4学年			
II 期	第5学年	<ul style="list-style-type: none"> 規則正しい生活の大切さを知り、自分の生活を見直し、節度ある生活を心がけ実行しようとする態度を養う。 生命がかけがえのないものであることを知り、自他の生命を尊重しようとする気持ちを育てる。 相手の立場を尊重し、自分と異なる意見や立場を大切にし、互いに支え合う態度を養う。 法やきまりの意義を理解し、正義の実現に努めようとする気持ちを育てる。 身近な集団に進んで参加し、自己の役割を自覚し、協力して主体的に責任を果たそうとする態度を養う。 地域社会の一員としての自覚をもつとともに、地域に支えられていることに対する感謝の気持ちを育てる。 	<p style="text-align: center;">家庭・地域との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> 道徳授業地区公開講座の実施。 学校評価に道徳に関する項目を入れ、保護者の願いを把握する。 中学生の職場体験学習を地域で行う。 地域懇談会等の実施 	<p>ボランティア活動</p> <ul style="list-style-type: none"> アルミ缶やペットボトルキャップ回収、福祉同好会の諸活動を協力して行い、社会に奉仕する喜びを共有し、協力して主体的に責任を果たそうとする態度を養う。
	第6学年			
	中学校 第1学年			
III 期	第2学年	<ul style="list-style-type: none"> 自主自立の生活態度をもち、集団生活の向上に努める力を養う。 かけがえのない生命を尊重し、真剣に生きて行こうとする姿勢を育てる。 互いの個性を認め合い、かけがえのない自他の生命を尊重する態度を養う。 理想の実現に向け、粘り強く実行していこうとする態度を養う。 地域社会の一員としての自覚を高め、社会に貢献しようとする意欲と態度を養う。 		<p>リトルティーチャー</p> <ul style="list-style-type: none"> 他者に奉仕する喜びを知り、公共のために役立つことをしようとする態度を養う。 互いに信頼し学び合うことを通して、より良い人間関係を構築する。
	第3学年			